

# 令和元年度事業報告

(はじめに)

高齢化率が過去最高を更新し続ける中、内閣府は高齢社会対策大綱で、「65歳を超え70歳代でも高い就業継続意欲が見られる現況を踏まえ、年齢にかかわらず希望に応じて働き続けることができるよう雇用・就業環境の整備を図る」と示しており、また、働き方改革の3つの柱にある「多様で柔軟な働き方の実現」でシニア層の活用を挙げています。令和元年度高齢社会白書でも、シルバー人材センター事業について支援を行うことが明記してあります。

当センターの現況を見れば、10年前(平成21年度)は60歳台(未満含む)が全体の50%超だったものが、令和元年12月には70歳台が65%超となっており、現在70歳台が中心となっていますが、近い将来、80歳台が中心となっていくことも想定していかなければなりません。

最近は、「80歳以降も活躍できるシルバー人材センターのあり方」の研究が盛んで、今後の就業内容や組織のあり方等の提言も多い中、シルバー会員の年齢構成から試算すると、33%の会員が認知症か軽度認知障害者に該当するとの研究結果も発表されており課題は山積しています。

そんな中、「自分たちのものとして考える・自分たちの力で育てる、一緒になって働く・たがいに助け合う」の「自主・自立、共働・共助」というシルバー人材センターの基本理念に基づき、令和元年度事業計画に則って、以下の事業に取り組みました。

## 1 会員の拡大と女性会員入会促進の取組

シルバー人材センター会員数を母体(加東市)の60歳以上人口で除したものを粗入会率といたしますが、前年度と比べ全体の粗入会率が0.2%、女性会員が0.3%と微増しており、また会員数の伸び率は全体で5.5%、女性会員で17.9%と増加しました。

これは、従来の募集活動以外にも、新たに市のイベントへのPRブース出店、隣接センターとの共同で新聞広告を出すなどの入会促進活動と、新入会員の就業マッチングをきめ細かく努めた結果と言えます。

今後も様々な手法を用いて、更に会員拡大を図っていきたいと思います。

## 2 地域社会が期待する業務の新規開拓と積極的な受注の取組

前年度と比べ契約件数は22件の増ですが、契約金額は全体で6.8%、18,260千円の増加であり、特に民間事業が8.9%、13,800千円と大きく伸びました。

公共事業も3.9%、4,400千円と増加しましたが、全体が伸びたことで公共比率は42.6%からマイナス1.1%の41.5%となっています。

これは、まず会員数が増加し就業率も上昇したこと、次に、天候に恵まれ、屋外作業が順調に進捗したためであるが、消費税改正に合わせた配分金の増額改正も影響していると思われまます。

### 3 安全就業の取組

安全就業対策実施計画に基づき、就業現場での安全就業への取り組みを安全パトロールで確認し、職群班長会議では就業開始前に服装・機器の安全確認や体調管理の確認を行うよう要請し、剪定講習会でも講師による安全作業・意識の啓発を行いました。

また、熱中症対策として全会員（男性：ライトブルー、女性：ピンク）にクールマフラーを配布し、必要な就業現場にはスポーツドリンクを配りました。

### 4 高齢者の就業に関する情報の収集・提供および調査研究の取組

（公社）全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）や（公社）兵庫県シルバー人材センター協会（以下「兵シ協」という。）、関係行政機関、民間から発信される関連情報を収集し、会員へ適時、就業・求人情報の提供を行いました。

また、全シ協、兵シ協他が開催する会議・研修会等や東播ブロック等の近隣センターで得た情報の分析・研究を行い、適切かつ円滑な事業運営に努めました。

### 5 高齢者に対する就業相談の実施ならびに就業機会の確保および提供の取組

会員・未就業会員・入会希望者の就業相談や就業情報提供を、センター事務所で随時行い、新入会員と就業希望会員の就業マッチングを促進するよう努めました。

### 6 高齢者等に対する講習会等開催の取組

厚生労働省の補助メニューである「高齢者活躍人材確保育成事業」で未入会高齢者を対象に、3日間の剪定講習会を11月に実施し、8名の参加者の内3名が入会しました。

また、当センター会員対象の剪定講習会を2月に実施し、剪定班等の熟練コースと関心がある初心者コースに分けて、各1日ずつ延べ21名が参加しました。

### 7 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施

兵シ協が実施する一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施事業所として、高齢者の就業に適した業務に係る雇用を希望する高齢者を4事業所に派遣しました。

### 8 経営安定化に向けての取組

毎年のように改定される最低賃金やアルバイト賃金の時給上昇、消費税率10%に対応するため、シルバー会員が納得できる配分金額に改正し、同時に、加東市役所や、すでに契約している民間企業・個人にも値上げ交渉と理解を求めました。

### 9 会員の親睦および相互扶助ならびにセンター発展のための取組

互助会事業として、日帰りの親睦旅行、公共施設の清掃ボランティア活動を行いました。

## (会員数)

(令和2年3月31日)

年度当初会員数			入会者数			退会者数			年度末会員数			会員平均年齢		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
243	123	366人	36	37	73人	38	15	53人	241	145	386人	72.8	72.7	72.8歳

## (母体人口と粗入会率)

(令和2年3月31日)

加東市(母体)の人口						左のうち60歳以上人口					
男性		女性		合計		男性		女性		合計	
19,783		20,431		40,214人		5,910		7,135		13,045人	
粗入会率(会員数/60歳以上人口)						4.1%		2.0%		3.0%	

## (令和元年度事業の開拓実績)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

職業分類	区分	契約件数			契約金額			配分金 (賃金)	就業 延人数	就業 実人員
		公共 事業	民間事業	計	公共事業	民間事業	計			
請負等 事業	専門的・技 術的職業		39	39件		43,296	43,296円	39,360円	39人	351人
	事務的職業	20	26	46件	6,135,999	6,000,176	12,136,175円	11,026,100円	2,119人	
	サービスの 職業	11	18	29件	4,036,386	13,489,453	17,525,839円	15,935,401円	3,221人	
	農林漁業の 職業	113	276	389件	11,501,783	11,661,275	23,163,058円	18,398,118円	2,921人	
	生産工程の 職業	1	5	6件	6,600	8,219,277	8,225,877円	7,468,450円	1,487人	
	輸送・機械 運転の職業	3	1	4件	3,562,119	4,851	3,566,970円	3,242,700円	557人	
	建設・採掘 の職業	2	1	3件	93,324	37,576	130,900円	119,000円	14人	
	運搬・清 掃・包装等 の職業	617	642	1,259件	94,358,282	114,132,744	208,491,026円	166,712,214円	38,823人	
	小計	767	1,008	1,775件	119,694,493	153,588,648	273,283,141円	222,941,343円	49,181人	
シルバ ー派 遣事 業	専門的・技 術的職業		2	2件		1,063,339	1,063,339円	861,620円	192人	17人
	事務的職業		1	1件		556,969	556,969円	442,665円	88人	
	販売の職業		4	4件		3,952,000	3,952,000円	3,150,815円	574人	
	サービスの 職業		2	2件		351,025	351,025円	273,072円	75人	
	運搬・清 掃・包装等 の職業		9	9件		9,454,135	9,454,135円	7,562,575円	1,332人	
	小計	0	18	18件	0	15,377,468	15,377,468円	12,290,747円	2,261人	
合 計	767	1,026	1,793件	119,694,493	168,966,116	288,660,609円	235,232,090円	51,442人	368人	

(令和元年度請負等事業およびシルバー派遣事業実績一覧)

項目	契約件数	契約金額	就業延人員	就業実人員	就業率	
請負等事業	平成30年度	1,757件	255,212,830円	46,639人	330人	90.2%
	令和元年度	1,775件	273,283,141円	49,181人	351人	90.9%
	前年度比較	18件	18,070,311円	2,542人	21人	0.7%
(兵)シルバー派遣事業 協加東市事務所	平成30年度	14件	15,188,426円	2,195人	15人	100.0%
	令和元年度	18件	15,377,468円	2,261人	17人	106.3%
	前年度比較	4件	189,042円	66人	2人	6.3%
合計	平成30年度	1,771件	270,401,256円	48,834人	345人	94.3%
	令和元年度	1,793件	288,660,609円	51,442人	368人	95.3%
	前年度比較	22件	18,259,353円	2,608人	23人	1.0%

(契約金額の推移)

年度	契約金額	前年比	年度	契約金額	前年比
平成4年度 (10.1 ~ 3.31)	42,455,032円		平成18年度	333,628,956円	-2.5%
平成5年度	114,594,744円	169.9%	平成19年度	319,117,618円	-4.3%
平成6年度	166,762,906円	45.5%	平成20年度	307,237,394円	-3.7%
平成7年度	205,445,211円	23.2%	平成21年度	300,720,645円	-2.1%
平成8年度	241,281,073円	17.4%	平成22年度	321,764,118円	7.0%
平成9年度	249,885,948円	3.6%	平成23年度	288,537,313円	-10.3%
平成10年度	278,592,224円	11.5%	平成24年度	290,927,008円	0.8%
平成11年度	313,024,667円	12.4%	平成25年度	278,272,543円	-4.3%
平成12年度	343,421,731円	9.7%	平成26年度	294,140,282円	5.7%
平成13年度	322,728,511円	-6.0%	平成27年度	285,972,334円	-2.8%
平成14年度	323,097,084円	0.1%	平成28年度	276,119,075円	-3.4%
平成15年度	329,531,183円	2.0%	平成29年度	280,152,656円	1.5%
平成16年度	339,794,235円	3.1%	平成30年度	270,401,256円	-3.5%
平成17年度	342,261,740円	0.7%	令和元年度	288,660,609円	6.8%